茶食県福田

- 蜷川・佐賀で田舎体験





今年も、奈良県の学習塾「稲田塾」の塾生約80人が黒 潮町を訪れ、7月22日から24日の3日間、町内で田舎生 活を体験しました。

稲田塾では、「子どもたちの好奇心を大いに刺激して、知 識だけの学力でなく、自分たちで考え行動できる子どもた ちを育む」ことを目的に、高知県を4区域に分けた体験合 宿を行っています。

昨年は、西部コースの拠点となった蜷川地区での田舎体 験が稲田塾の皆さんに大変喜ばれ、そして、地元では民泊 を受け入れ子どもたちと交流した地域住民の活力の向上に

も繋がっていました。

昨年に引き続き、蜷川地区では「であいの里蜷川」を拠点に農村民家での宿泊を受け入れ、佐賀地区で は今年初めての試みとして、「黒潮一番館」を拠点とした海洋体験や漁村民家 の宿泊の受け入れを行いました。

滞在期間中、カツオのタタキづくり体験(黒潮一番館・であいの里蜷川) や田舎寿司づくり体験(であいの里蜷川)、塩づくり体験(ソルトビー)、海 釣りや海洋クルージング、ビーチクラフト(游海)、海遊びや川遊びなど、町 内のありとあらゆる田舎体験を存分に満喫した子どもたちにとって、初めて の高知で、毎日が驚きや発見、笑顔の絶えない日々となったようです。

また、宿泊を受け入れた家庭からは「初めてこのような受け入れをして、自分の孫のように家での生活 を共にした」「帰ってしまうのが本当に寂しい。もっとおってもらいたい」「自分の孫ともすぐに打ち解け て、ええ子で遊んでくれた。来年もまた受け入れをしたい|と充実した3日間を振り返っていました。

今回の稲田塾田舎体験の受け入れでは、黒潮町にある多くの資源を、より有効に生かせる体制が整えら れていました。

関係者の方々は、多くの苦労があった反面、楽しんでくれたこと、感謝されたことへの喜びに加え、今 後のさらなる取り組みへの可能性を感じ取ったことと思います。





EKIDEN大会」 れました。 14回いごっそうアクアスロン

猛暑となった黒潮町。 大会前日は県内でも一 番 0)

熱気で溢れかえりました。 146人のアスリートたちの い暑さと、全国から集まった わしく、気温35度という厳し !!」という大会テーマにふさ 本大会は、 会場は、「真夏への挑戦状 佐賀港でのスイ

と思わぬ形で選手同士、 験ができるとは思いませんで のお楽しみ抽選会やもち投げ パーティ(有料)、大会終了後 当に感動を与えてもらいます。 スを、全力を振り絞って走り スロン大会で、こんな良い体 会に参加した選手も「アクア る選手の方も多く、 を楽しみに毎年参加してくれ 抜く選手の方々には、 の激しい坂道が続くランコー 折り返し地点まで延々と勾配 待ち受けています(一般の部)。 もいえる過酷なランコースが ム、その後、大会のメインと たた。 大会前日のふれあいカツオ 参加してよかった。 初めて大 毎年本

佐賀港一帯で「第 が開催さ 際学園トライアスロン部から また、

今年は大阪の千里

玉

楽しんでもらえたことが伺え ましたが、後日届いた手紙で、 土地での大会に戸惑いと緊張 22人の参加がありました。 した様子が見られる選手もい 遠方から参加し、見知らぬ

手紙を紹介します… (高2男子)

深いものでした。大会の内容 ツオパーティ・2日目の選手 も行きたいと思いました。 れないものでした。実に充実 できるという興奮をおさえら がら海の景観を眺めることが も黒潮で泳いだあとに走りな に対する対応、共に実に感慨 感じられました。1日目のカ 元の人からの心からの歓迎が 会では大会スタッフの方や地 れば表彰状をもらえるだけと いうものでしたが、今回の大 いうと受付でゼッケンをもら した2日間でした。また来年 今まで参加してきた大会と 参加賞をもらい、 入賞す

(高)女子

と交流を図れたことを喜んで

いました。

めてのアクアスロンであり、 今回の大会は私にとって初

> ぜひ次回も参加したいです。 私はそれと同じぐらい、 多くの人に励まされてのゴー ありましたし、 ろんレース自体にも達成感は ちの暖かさに触れていたよう 離でもありましたが、 やったことのないような長距 たすべての人に感謝します。 れるようにして…。 関わられ 次はもう少しタイムを縮めら 土地の空気が魅力的でした。 ルは感動ものでした。しかし 域だなぁと思いました。もち 雰囲気も良く、素晴らしい地 に思います。景色も食べ物も スが出る間際まで地元の人た から始まり当日の終わり、 有意義で貴重な経験ができま した。前夜のカツオパーティ 先生をはじめ あの





町内外から約20人が参加し、

彦さん 県外から帰郷しての参加など、 匹で下村昌彦さん 結果は、 大物を目指して健闘しました。 いろいろな人がこの大会に参 が受賞しました。 ルのキスを釣り上げた本田伴 してくれた方々、 友達や家族連れでチャレンジ くさんのキスを釣り上げた人 贈ら 毎年参加してくれて れる大漁賞は、 (加持) 22・8センチメート が優勝し、 その他にも (四万十市) いる方、 合 計 13 た

内各地で夏祭りや盆踊 が行われました。 8月15日には ラリー2007 の人で賑 会場となった入野の浜は 月から8月にかけ わ いました。 て、 が行わ サ り大会 イド 町

迎えました。

してください

7

ヤ



浜投げキッス

(キス釣り大会)

僕の魚、一番大きいろうか・・・

踊

ŋ

「新佐賀音頭」

を

なって踊り歩きました。

なが

浮流」「東京ばやし」「ばんばなが「大方音頭」「鹿島一声姿の子どもから大人までみん

やぐらを中心に、浴衣や法被



毎年、シーサイドギャラリーの盆踊 り大会に参加してくれている『入野 本村婦人会』の皆さんです。会長 の小橋睦代さんから「地域づくりに 何らかの形で力になりたいという使 命感で、何年も前からこの盆踊り大 会へ参加してきました。でも、今で はもうみんながハマってしまって、 毎年楽しんで参加させてもらって います!]と嬉しいコメントをいただ きました。みなさん、会場でもひと きわ輝いていましたよ!!

響き渡っていました。 中学生の澳本幸生くんに参加林良磨くん、道倉幸柊くん、 の曲に合わせて、 していただきました。 て道倉幸彦さん、堀川貴弘さ また、 力強い太鼓の音が 小学生の津野紀史くん、 太鼓のたたき手とし 約1時間 会場 盆踊

暑い中、お疲れさまでした!!



も大会最後には500発もの 花火で盛大に締めくくることがで きました。各企業や町内地区、関 係者のみなさん、たくさんのご協 力ありがとうございました。



太鼓のたたき手のみなさん

たくさん釣れた人も、

ように釣れなかった人も景品 来年もまた参加 笑顔で閉会式を るの が、曲が流れ始めると、特設かなり少ない申し込みでした 子の 祭りを一 が盆踊り 体参加が3チームと 切です。 層盛り上げ 今年は日 てく